

第14期 期末報告書

2009.10.1~2010.9.30

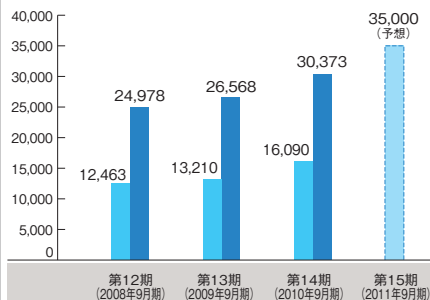
14

d w a n g o

【財務ハイライト】

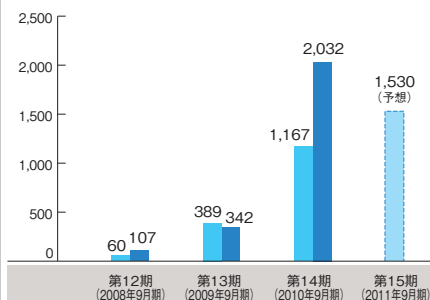
連結売上高

(単位:百万円) ■ 第2四半期累計 ■ 通期



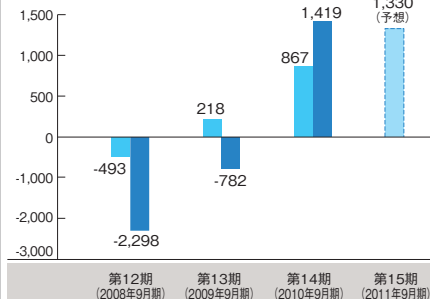
連結経常利益

(単位:百万円) ■ 第2四半期累計 ■ 通期



連結当期純利益

(単位:百万円) ■ 第2四半期累計 ■ 通期



dw

ネットに生まれて、ネットにつながる。

株主の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

第14期(2009年10月から2010年9月まで)における業績の概況についてご報告いたします。

各事業の概況ですが、まずポータル事業において『ニコニコ動画』のさらなるサービス・機能の強化やユーザの利便性向上に努めた結果、プレミアム会員数が順調に増加し100万人(2010年10月13日)を突破いたしました。中でも、幅広いユーザ層に向けた政治、音楽、スポーツ、芸能などのコンテンツをリアルタイムに配信する『ニコニコ生放送』の拡充がプレミアム会員の獲得に貢献しました。

モバイル事業においては、モバイルコンテンツ市場が縮小している中、音楽系の着うた[®]、着うたフル[®]サイトを

an g o

中心に人気楽曲の配信権利の獲得や効果的なプロモーションを実施、また『ニコニコ動画』とのシナジーを活かしたコンテンツを配信するなど新たな会員獲得に努めてまいりました。

ゲーム事業においては、当社グループの人気シリーズタイトルのパッケージゲームや受託・共同開発タイトル、海外人気タイトルの国内提供などが貢献いたしました。国内家庭用ゲーム市場は依然厳しい状況にあり、全般的には軟調となりました。

以上の結果、当連結会計年度におきましては、売上高303億73百万円（前期比14.3%増）、営業利益18億98百万円（前期比378.1%増）、経常利益20億32百万円（前期比493.8%増）となりました。また、投資有価証券売却益4億83百万円など5億91百万円を特別利益に、

事業資産の減損損失7億64百万円など9億10百万円を特別損失に計上したことなどにより、当期純利益は14億19百万円（前期は7億82百万円の損失）となりました。

当社グループでは、変化の激しい事業環境の中、ネットワークを通じた新しいコミュニケーション手段を提供すべく、今後も良質なエンタテインメントサービスをPC、携帯電話、ゲーム市場で展開してまいります。

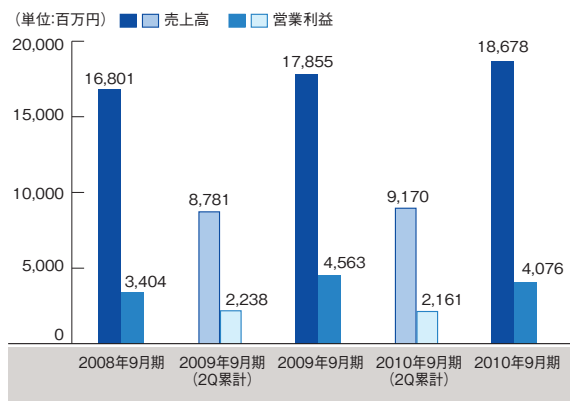
株主の皆様には何卒ご理解
のうえご支援賜りますようお願い
申し上げます。

代表取締役社長
小林 宏

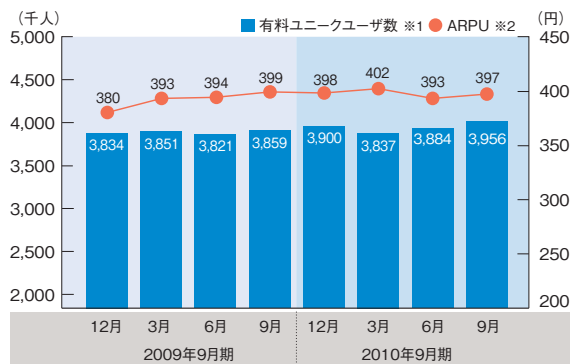


モバイル事業

売上高及び営業利益



ユニークユーザ数とARPUの推移



※1 有料ユニークユーザ数とは、ユーザIDに基づきカウントする有料ユーザ数。延べ数ではなく、同一ユーザが複数サイトへ加入している場合にも1人としてカウント。

※2 ARPU (Average Revenue Per User) とは、ユーザ1人当たりの月間売上高のこと。同一ユーザの複数サイトへの加入状況を把握することで算出が可能 (顧客単価と同義)。

主力となる音楽系コンテンツでは、人気アーティスト楽曲の配信権利の獲得や効果的なアフィリエイト広告によるプロモーション展開を積極的に実施しました。

音楽系以外にも、『ニコニコ動画』発のコンテンツやアイテム課金型のソーシャルゲームなどの提供によるサイトの活性化と会員獲得を図りました。

これらの取り組みにより、当連結会計年度末の有料ユニークユーザ数※1は、395万6千人(前期比9万7千人増)、ARPU※2は397円(同2円減)となりました。

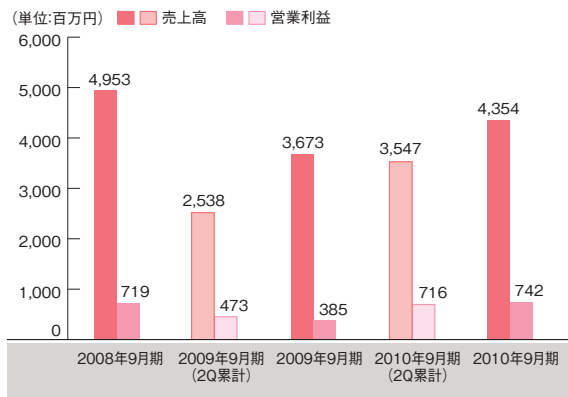
費用面においては、着うたフル®の購入比率が高まっていることから著作権等使用料が増加していますが、コンテンツ制作費やサイト運営費などの圧縮に努めました。

その結果、売上高は186億78百万円(前期比4.6%増)、営業利益は40億76百万円(同10.7%減)となりました。

今後の取り組みとしては、引き続き音楽系サイトにおいて人気楽曲の配信やタイアップ展開などにより他社との差別化を図ると共に、当社グループの強みを活かした動画やゲームコンテンツの提供により新たなユーザの獲得を目指します。また、本格的な普及が考えられるスマートフォン向けのコンテンツ開発にも注力していきます。

ゲーム事業

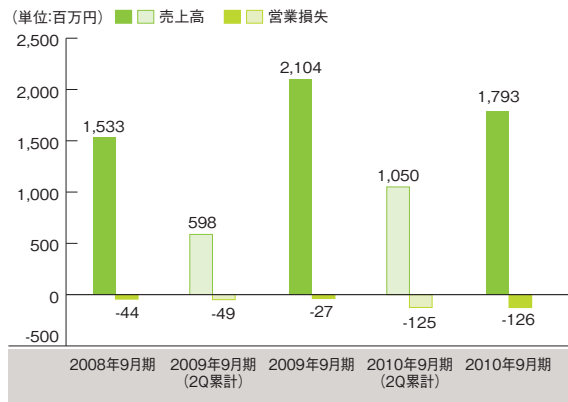
売上高及び営業利益



国内タイトルでは引き続き「喧嘩番長4」や「不思議のダンジョン 風来のシレン4」、海外タイトル(国内向け)では「セキリッド2」、受託・共同開発では「ドラゴンボール レイジングブラスト」や「ポケモン不思議のダンジョン 空の探検隊」などが売上に貢献しましたが、国内家庭用ゲーム市場環境は依然厳しく、携帯電話でのソーシャルゲーム市場の台頭などもあり、人気シリーズ以外のタイトルは全般的に軟調となりました。その結果、売上高は43億54百万円(前期比18.5%増)、営業利益は7億42百万円(前期比92.7%増)となりました。今後の取り組みとしては、市場環境・動向に伴い、当社グループの人気シリーズタイトルを中心に携帯・据置型ゲーム機向けパッケージゲームの提供に注力していきます。

その他事業

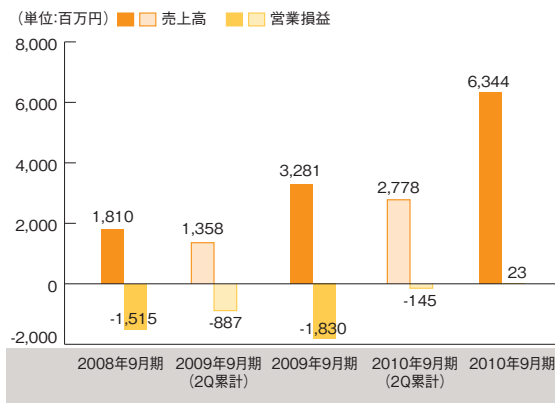
売上高及び営業損失



主に、アニメーション分野におけるCD、DVDなどの音楽出版による著作権利用収入などが売上に貢献しています。その結果、売上高は17億93百万円(前期比14.8%減)、営業損失は1億26百万円(前期は27百万円の損失)となりました。今後の取り組みとしては、音楽出版事業において『ニコニコ動画』発のコンテンツのCD・DVD化や、当社グループが持つ人気コンテンツを活かした施策を積極的に行っていきます。

ポータル事業

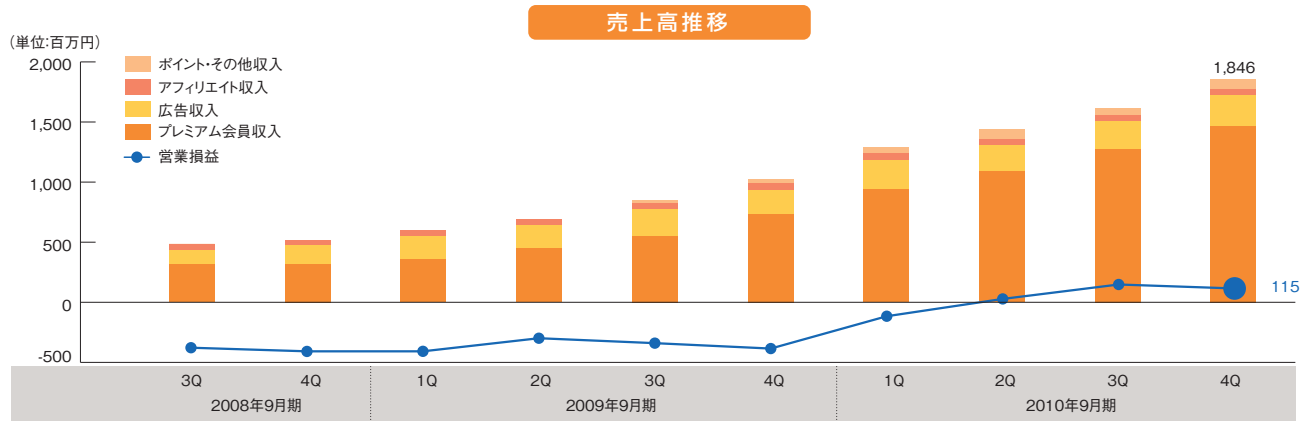
売上高及び営業損益



ポータル事業の柱となる『ニコニコ動画』において、特に人気を集めている『ニコニコ生放送』の番組拡充や、様々なサービスで利用できるニコニコポイントのプレゼントキャンペーンなどの誘導施策が奏功し、プレミアム会員数は好調に推移しました。また、メディアとしての認知度向上に伴い広告収入が増加、有料コンテンツや課金サービスに使用できるニコニコポイントの収入も順調に推移しました。費用面においては新サービスへの投資が継続的に発生していますが、回線・サーバ増強の費用の増加は落ち着きつつあります。

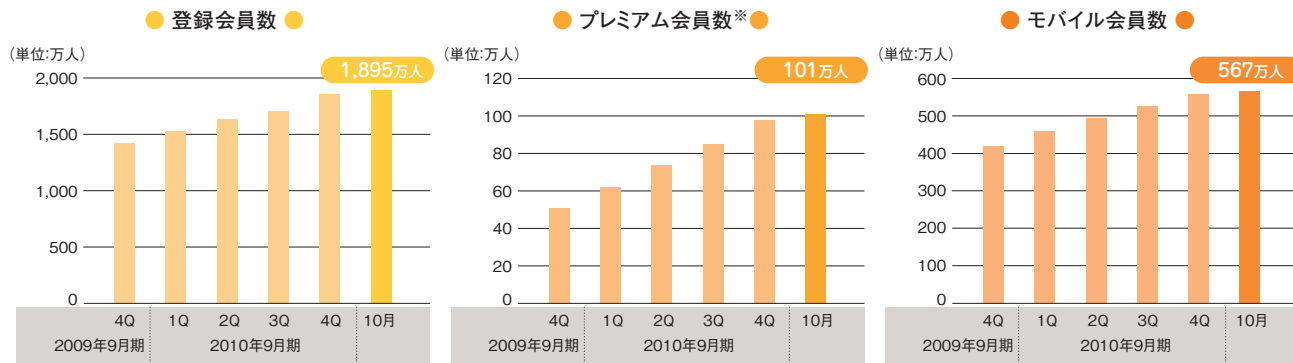
以上の結果、売上高は63億44百万円(前期比93.4%増)、営業利益は23百万円(前期は18億30百万円の損失)となり、通期での黒字化を達成しました。

『ニコニコ動画』の業績実績



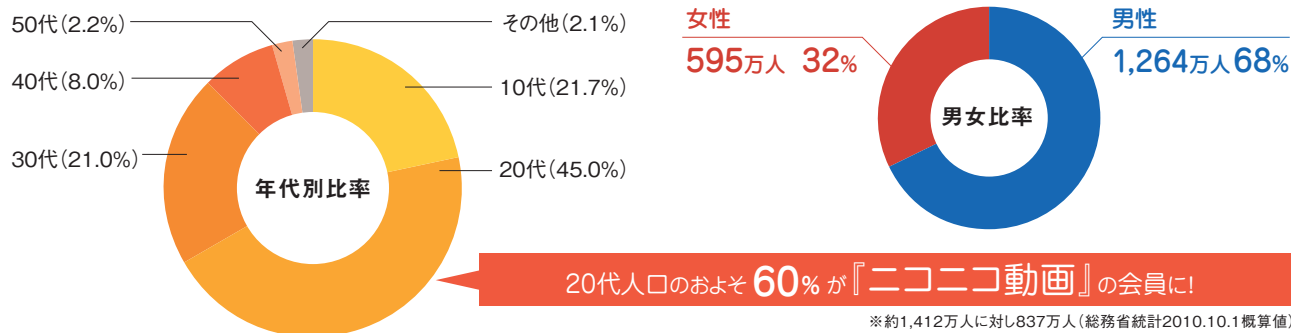
『ニコニコ動画』の会員数推移

プレミアム会員においては、2010年10月13日に100万人を突破しました。

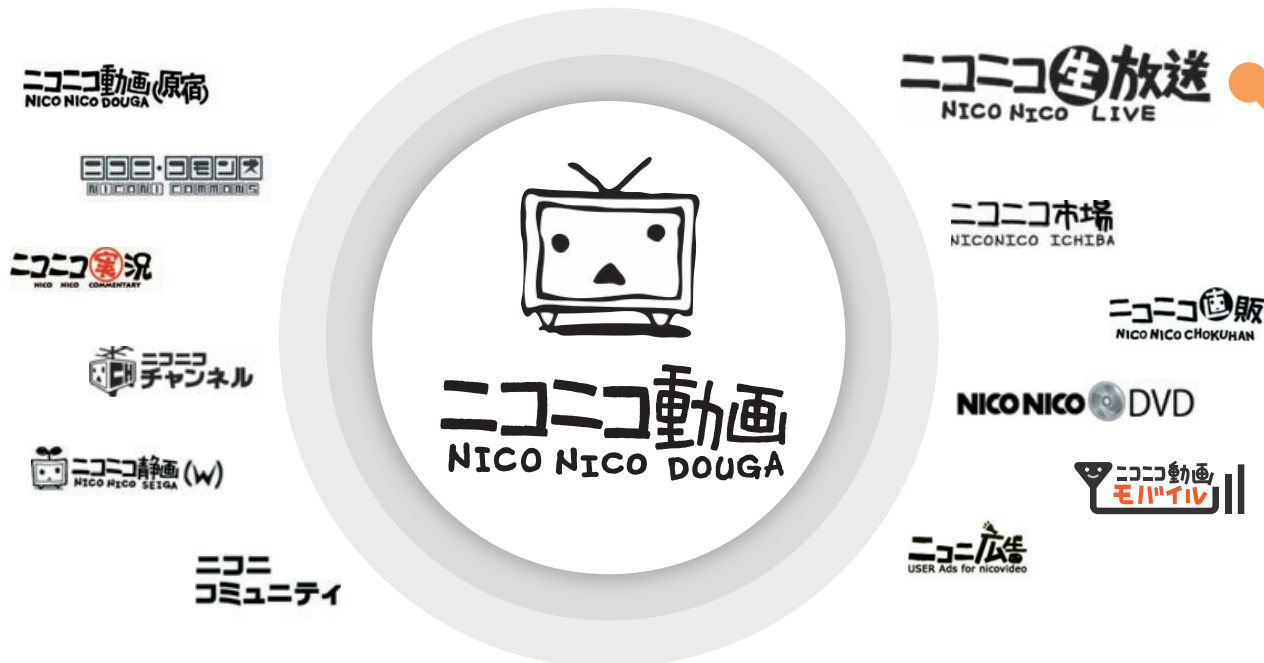


※プレミアム会員=有料会員・・・月額525円またはチケット課金90日1,680円にて、専用回線での快適な視聴や生放送の優先視聴他、様々な特典を受けられる。

会員属性 (2010年9月30日現在)



■ 『ニコニコ動画』で広がるコミュニケーション



サービス開始から5年目を迎える『ニコニコ動画』は、今や日本の20代人口のおよそ60%が会員という国内最大規模の動画コミュニティサイトとして多くのユーザに支持されています。

引き続き最も注力しているサービス『ニコニコ生放送』における多岐にわたる分野のコンテンツ拡充により、集客だけでなく認知度・注目度がアップし、10~20代が中心だったユーザが30~40代にも広がりつつあります。

このような一般化の動きを加速させるべく、2010年10月29日にサイトを『ニコニコ動画(原宿)』にバージョンアップ。幅広い層の方々にお楽しみいただけるようなサイトづくりを目指しリニューアルしました。



PC ▶ <http://www.nicovideo.jp>

携帯電話 ▶ <http://m.nicovideo.jp>

『ニコニコ動画』全体の利用状況

2010年9月期4Q平均値／当社計測値 ()内は直前期

1日平均PV数
8,056万PV (7,430)

1日平均訪問者数
282万人*(267)
* ユニークユーザー数

1訪問の平均滞在時間
38.5分 (36.6)



『ニコニコ生放送』

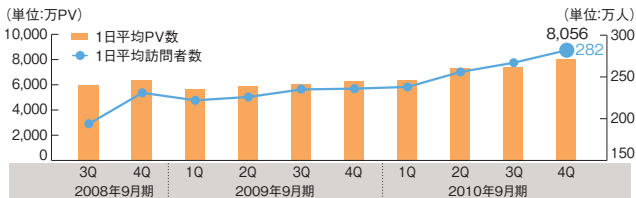
生中継動画を視聴しながらコメントや番組出演者とのダイレクトなやりとりを楽しむことができる『ニコニコ生放送』。

当第4四半期(7~9月)は、公式番組数が583番組、総視聴者数は635万人と過去最高値となり、プレミアム会員数の拡大を牽引しました。

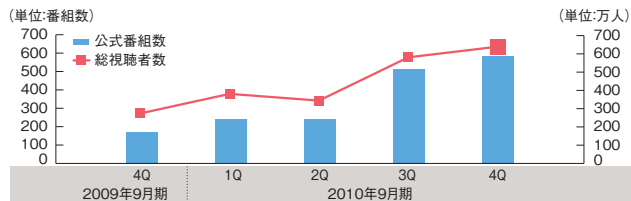
中でも人気を博したのは、選挙や事業仕分けなどの政治・時事系番組で、編集なしのライブ映像とリアルタイムで書き込まれるコメントにより出演者と視聴者間の反応がダイレクトに伝わる双方向性が従来のメディアとは一線を画し、絶大な支持を得ました。

また、『ニコニコ生放送』で飛び出した発言が、新たな情報として新聞・テレビで取り上げられるなど、これまでにない新しいメディアとして圧倒的な地位を確立してきています。

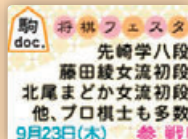
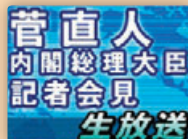
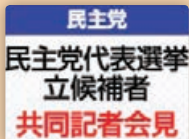
PV推移



番組数推移



番組例

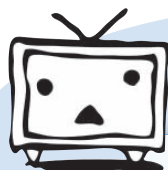


■ 今後の取り組みについて、ご紹介いたします

角川グループホールディングスとの業務提携

角川グループが有する書籍や人気アニメ、ゲームなどのコンテンツを『ニコニコ動画』で提供する他、相乗効果を図るべく各種連携したサービス展開を行っていきます。

リアルとネットメディアの融合により、親和性の高い既存ユーザの活性化及び新規ユーザの拡大を目指します。



ニコニコ動画
NICO NICO DOUGA

- ①ニコニコビューワ(仮称)連携
- ②公式チャンネル開設
- ③イベント・コンテンツ配信

角川グループホールディングス

【業務提携項目】

来年4月から

1

「Book☆Walker」(角川グループ)とニコニコビューワ(仮称)(ニコニコ動画)の連携

角川グループが来年4月から展開するコンテンツ配信のプラットフォーム「Book☆Walker」で購入した一部の電子書籍を、『ニコニコ動画』で新たに提供される電子書籍ビューワ(仮称:ニコニコビューワ)での閲覧を可能とします。これによりニコニコユーザは角川グループの人気コンテンツで新たな読書体験が可能となります。

将来的に

2

角川グループ×ニコニコ動画公式チャンネルの開設

『ニコニコ動画』内に角川グループの公式チャンネルをオープン。ここでしか見られないオリジナルアニメの製作・配信や、現在『ニコニコ動画』で活躍するユーザから優秀なクリエイターを発掘・育成し、角川グループの各種媒体での展開につなげるための番組など、新たなコンテンツ展開を予定しています。

運動展開

3

リアルイベントや人気コンテンツの配信

角川グループのゲーム雑誌と組み、ゲームの発売前夜祭イベントを実施し、その模様を『ニコニコ生放送』で配信します。また、すでに『ニコニコ動画』(PC)上で配信し人気を博しているアニメ「俺の妹がこんなに可愛いわけがない」「とある魔術の禁書目録II」を『ニコニコ動画モバイル』にて配信(2010年10月開始)するなど、ユーザニーズに効果的な展開を行っていきます。

角川グループ×ニコニコ動画公式チャンネルでコンテンツ提供予定の角川グループ会社一覧(順不同)

株式会社角川書店 / 株式会社角川学芸出版 / 株式会社アスキー・メディアワークス / 株式会社魔法のいらんど / 株式会社富士見書房 / 株式会社エンターブレイン / 株式会社中経出版 / 株式会社新人物往来社 / 株式会社角川マーケティング / 角川・エス・エス・コミュニケーションズ / 株式会社角川マガジンス / 株式会社角川メディアハウス / 角川映画株式会社 / 株式会社キャラアニ / 株式会社角川コンテンツゲート

『ニコニコ動画』の新たな挑戦～ネットとライブの融合～

『ニコニコ動画』ではこれまで、ユーザ招待制イベント『ニコニコ大会議』などの生中継(ニコニコ生放送)の視聴を無料で行ってきましたが、新たな収益ビジネスを目指すべくライブ事業を立ち上げます。

新サービスの発表と人気ユーザアーティストのライブイベントを兼ねた『ニコニコ大会議』をはじめとする音楽イベントや当社主催のミュージカルなどを生中継し、来場者向け「リアルチケット」と『ニコニコ生放送』でのネット視聴者向け「ネットチケット」を発売、有料で提供します。

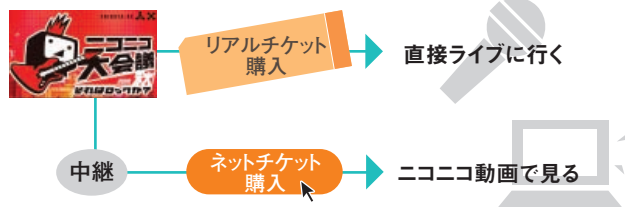
『ニコニコ生放送』でイベント映像とコメントを共有することにより会場とネットが融合し、ここでしか味わえないライブ感をお楽しみいただけます。

2010年10月に開催した『ニコニコ大会議2010秋』においては、リアルチケット(5,800円/枚)は販売開始10分後に完売、さらにネットチケット(1,500円/枚)の売上枚数は

約10,000枚に達するなどリアルチケットを上回り、新たなネットビジネスの可能性を見出す実績となりました。

またミュージカルにおいては、従来高額なミュージカルや演劇鑑賞を低価格なネットチケットにて提供することにより、コンテンツの活性化と幅広い層のユーザ獲得を図ります。

【ライブイベント例】



ライブイベント情報は下記サイトより、ご覧いただけます。

「ニコニコ動画ライブイベント」ポータルサイト	URL: http://www.nicovideo.jp/event/
「ニコニコ大会議」公式サイト	URL: http://www.nicovideo.jp/daikaigi/
「ニコニコミュージカル」公式サイト	URL: http://www.nicovideo.jp/nicomu/

『ニコニコ本社』を原宿にオープン

所在地：東京都渋谷区神宮前1-15-2

『ニコニコ本社』は、『ニコニコ動画』上で人気があるユーザを支援し、本人や作品が活躍できる場所として、東京・原宿にオープン*します。

地下1階～地上3階建ての『ニコニコ本社』内には、『ニコニコ生放送』の番組を放送するサテライトスタジオを設置し、従来の公式番組に加え、人気ユーザが出演する生放送番組の配信も行います。

また、サイトで人気を集めた楽曲のCDや関連グッズを販売するストアや、モニターで生放送が楽しめるカフェなどを展開、プレミアム会員限定のサービスも提供していきます。実店舗とサイトの相乗効果で、新規会員の獲得や既存会員の活性化を図ります。

*オープン日につきましてはホームページにてご案内いたします。
<http://www.nicovideo.jp>



【連結貸借対照表】

(単位:百万円)

科目	当期 2010年9月30日現在	前期 2009年9月30日現在
(資産の部)		
流動資産	16,212	16,057
現金及び預金	4,054	4,278
受取手形及び売掛金	6,288	5,668
有価証券	3,505	4,303
商品及び製品	185	47
仕掛品	942	854
原材料及び貯蔵品	16	16
繰延税金資産	4	43
その他	1,218	849
貸倒引当金	△ 4	△ 5
固定資産	5,586	4,863
有形固定資産	1,149	991
建物及び構築物	175	245
工具器具備品	939	737
リース資産	35	6
その他	0	1
無形固定資産	1,107	884
投資その他の資産	3,328	2,987
投資有価証券	2,713	2,303
繰延税金資産	0	68
その他	614	615
資産合計	21,798	20,921

(単位:百万円)

科目	当期 2010年9月30日現在	前期 2009年9月30日現在
(負債の部)		
流動負債	5,895	5,892
支払手形及び買掛金	1,914	1,814
短期借入金	932	900
未払金	1,561	1,250
リース債務	11	1
未払法人税等	160	88
賞与引当金	400	392
返品調整引当金	2	34
事業整理損失引当金	37	—
その他	874	1,410
固定負債	40	63
リース債務	27	5
繰延税金負債	13	57
負債合計	5,936	5,955
(純資産の部)		
株主資本	15,370	14,324
資本金	10,072	10,072
資本剰余金	9,402	9,777
利益剰余金	△ 2,625	△ 4,046
自己株式	△ 1,479	△ 1,479
評価・換算差額等	6	76
少数株主持分	484	565
純資産合計	15,862	14,966
負債純資産合計	21,798	20,921

【連結損益計算書】

(単位:百万円)

科目	当期	前期
	(自 2009年 10月 1日 至 2010年 9月30日)	(自 2008年 10月 1日 至 2009年 9月30日)
売上高	30,373	26,568
売上原価	17,029	16,112
売上総利益	13,343	10,456
販売費及び一般管理費	11,444	10,059
営業利益	1,898	397
営業外収益	182	63
営業外費用	47	118
経常利益	2,032	342
特別利益	591	80
特別損失	910	1,223
税金等調整前当期純利益又は損失(△)	1,713	△ 800
法人税、住民税及び事業税	248	110
過年度法人税等戻入額	—	△ 112
法人税等調整額	106	103
少数株主損失(△)	△ 61	△ 119
当期純利益又は損失(△)	1,419	△ 782

【連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位:百万円)

科目	当期	前期
	(自 2009年 10月 1日 至 2010年 9月30日)	(自 2008年 10月 1日 至 2009年 9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,266	1,111
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,936	△ 2,555
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 350	△ 1,845
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 1	△ 2
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 1,022	△ 3,292
現金及び現金同等物の期首残高	8,382	11,674
現金及び現金同等物の期末残高	7,360	8,382

【連結株主資本等変動計算書】

(自 2009年10月1日 至 2010年9月30日)

(単位:百万円)

	株主資本				評価・換算差額等				少数株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計		
2009年9月30日残高	10,072	9,777	△ 4,046	△ 1,479	14,324	76	△ 0	76	565	14,966
連結会計年度中の変動額										
剰余金(資本剰余金)の配当		△ 374			△ 374					△ 374
当期純利益			1,419		1,419					1,419
その他の増減			0		0					0
株主資本以外の項目の 連結会計年度中の変動額(純額)						△ 69	△ 0	△ 69	△ 80	△ 149
連結会計年度中の変動額合計	—	△ 374	1,420	—	1,045	△ 69	△ 0	△ 69	△ 80	895
2010年9月30日残高	10,072	9,402	△ 2,625	△ 1,479	15,370	7	△ 0	6	484	15,862

【単体貸借対照表】

(単位:百万円)

科目	当期	前期
	2010年9月30日現在	2009年9月30日現在
(資産の部)		
流動資産	13,588	13,427
固定資産	5,847	4,816
資産合計	19,435	18,244
(負債の部)		
流動負債	4,262	3,798
固定負債	13	57
負債合計	4,276	3,855
(純資産の部)		
株主資本	15,150	14,311
資本金	10,072	10,072
資本剰余金	9,402	9,777
利益剰余金	△ 2,845	△ 4,059
自己株式	△ 1,479	△ 1,479
評価・換算差額等	8	77
純資産合計	15,159	14,388
負債純資産合計	19,435	18,244

【単体損益計算書】

(単位:百万円)

科目	当期	前期
	自 2009年10月1日 至 2010年9月30日	自 2008年10月1日 至 2009年9月30日
売上高	24,163	21,235
売上原価	13,817	13,143
売上総利益	10,346	8,092
販売費及び一般管理費	9,006	7,418
営業利益	1,340	673
営業外収益	55	70
営業外費用	19	27
経常利益	1,375	716
特別利益	588	50
特別損失	642	3,010
税引前当期純利益又は損失(△)	1,322	△ 2,244
法人税、住民税及び事業税	108	3
当期純利益又は損失(△)	1,213	△ 2,247

【単体株主資本等変動計算書】

(自 2009年10月1日 至 2010年9月30日)

(単位:百万円)

	株主資本									評価・換算差額等		純資産 合計
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			自己株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
		資本準備金	その他 資本剰余金	資本剰余金 合計	利益 準備金	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金 合計					
2009年9月30日残高	10,072	2,623	7,153	9,777	15	△4,075	△4,059	△1,479	14,311	77	77	14,388
事業年度中の変動額												
剰余金(資本剰余金)の配当			△ 374	△ 374					△ 374			△ 374
当期純利益						1,213	1,213		1,213			1,213
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額(純額)										△68	△68	△68
事業年度中の変動額合計	—	—	△ 374	△ 374	—	1,213	1,213	—	838	△68	△68	770
2010年9月30日残高	10,072	2,623	6,779	9,402	15	△ 2,861	△ 2,845	△ 1,479	15,150	8	8	15,159

当社ホームページのご紹介

ホームページのIR情報サイトでは、決算情報やIR資料、最新のニュースリリースなどを掲載しています。

 <http://info.dwango.co.jp/>

 <http://info.dwango.co.jp/>

またはこちら



メールニュース(無料)

IR関連の最新情報をメールでお届けするサービスです。パソコンのEメールアドレスをお持ちであれば、どなたでも登録いただけます。

トップページ右側「IRニュース」欄内

「IRニュース配信」からご登録



アンケートにご協力ください

ホームページでは随時アンケートを実施しております。この機会に是非、お声を聞かせください。

ホームページ「IR情報」サイト

左側のメニューバー最下段「個人投資家のみなさまへ」

「アンケートにご協力をお願いします」からご回答いただけます。



株式の状況 (2010年9月30日現在)

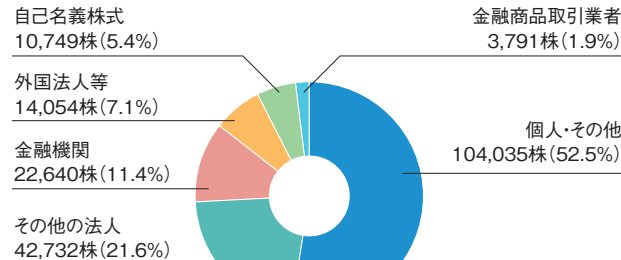
発行可能株式総数…………… 528,000株
 発行済株式総数…………… 198,001株
 株主数…………… 11,870名

【大株主の状況】

株主名	持株数(株)	出資比率(%)
エイベックス・グループ・ホールディングス株式会社	40,900	20.65
川上 量生	35,395	17.87
森 栄樹	10,100	5.10
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	7,094	3.58
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	6,290	3.17
太田 豊紀	4,750	2.39
小林 宏	1,960	0.98
ステート ストリート バンク アンドトラストカンパニー 505025	1,556	0.78
夏野 剛	1,500	0.75
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	1,182	0.59

※上記の他、自己株式10,749株を保有

【所有者別株式数比率】



IRカレンダー(予定)※日程の詳細は、当社ホームページに随時掲載いたします。

第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期		
10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
	通期 決算発表	株主総会 期末報告書 配布		第1四半期 決算発表			第2四半期 決算発表	中間報告書 配布		第3四半期 決算発表	

株主メモ

事業年度 10月1日～翌年9月30日

定時株主総会 毎年12月

期末配当基準日 9月30日
※その他必要があるときは、あらかじめ公告して臨時に基準日を定めます。

公告方法 電子公告により行う
公告掲載 URL <http://info.dwango.co.jp/ir/>
※なお、やむを得ない事由により電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

株主名簿管理人
特別口座の
口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
TEL:0120-232-711(通話料無料)

上場証券取引所 東京証券取引所

■ご注意

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記載された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

dwango

〒103-0007 東京都中央区日本橋浜町2-31-1 浜町センタービル

TEL:03-3664-5477 FAX:03-3664-5478

E-mail: ir@dwango.co.jp URL: <http://info.dwango.co.jp/>

■会社概要(2010年9月30日現在)

設立年月日 1997年8月6日

資本金 100億7,292万円

従業員数 単体 556名 連結 794名

事業内容 次世代ネットワークエンタテインメントを対象としたコンテンツ及びシステムの企画、開発、運用、サポート、コンサルティング

役員	代表取締役会長	川上	量生
(2010年12月21日現在)	代表取締役社長	小林	宏
	取締役役	夏野	剛
	取締役役	麻生	巖
	取締役役	佐藤	辰男
	取締役役	千葉	龍平
	監査役(常勤)	小池	哲
	監査役	鈴木	祐一
	監査役	永野	明
	監査役	藤田	隆

子会社 株式会社ダウンゴ・ミュージックエンタテインメント
株式会社ニワンゴ
株式会社モバイルコンテンツ
株式会社スカイスクレイパー
株式会社ゲームズアリーナ
株式会社チュンソフト
株式会社スパイク
株式会社ティアーアンドイソフト
ゲームズアリーナ有限責任事業組合2号
ai sp@ce制作委員会
多玩國股份有限公司(台湾 台北市)

関連会社 株式会社AG-ONE
株式会社5pb.